

お茶の時間



お茶の時間の紙面は、明るく楽しいものにするお心かけしているのだわー

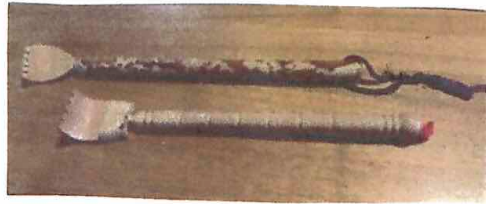
新潟は、原発の問題を抱えている。いつでも地元民が腹を痛め、心を痛めさせられているのも、送電されている首都圏の人々は全く知らない様子。

18年前の新潟日報紙面「おやすみなさい柏崎原発」や、14年前の記事「今さら聞けない。高レベル廃棄物、10万年後に残る負の遺産」を改めて読む。

千代田/アフリカ事故や福島事故、本当のその後を知らされているのだろうか。

福島の人々は、福島というだけで悲しんだ。新潟もひとくりにされて海、山の幸、豊かな恵みかー

自民反対で県民投票条例案否決を決定
「二考採一では把握できない」知事も悲しんでいるのだ。



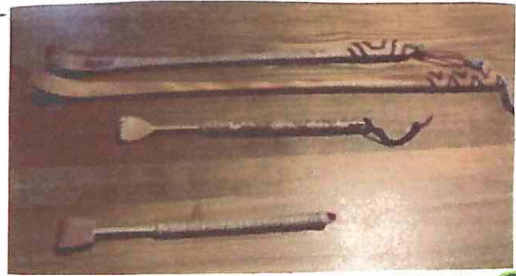
上は35年前 秋田県角館町の民芸店で500円で購入。先の部分をヤスリで調整、伸ばすと40cm程になる。

下のものは100円ショップで購入。難作りだが買えた。今、売っているの？

新潟伊勢丹で実演販売、即購入



糸木が使う40cmサイズ(4950円)
名前も入れてもらった
先の部分はこの場で調整してくれた。



上の2本は、フラム工芸(岩手県二戸市)の
斧柄(おののえのへ)の木で作ったもの
30年は使っていて、ア×色にかなり美しかった

心に響く言葉

たかが一勝
されど一勝!



我が家のまごの手

いいもの見つけた

毎日の生活の中で取り立てて必要ではないが、あったら便利、と思っていたものを秋田県角館町の民芸店で偶然見つけた。長さ二十二センチの「まごの手」だ。

筒形のそれは伸び縮みする優れたもの。小さくて軽しい「ひまごの手」の商品名にひかれて買った。以来、先端が赤ん坊の手に似た作りの小形の竹の棒は、硬くなつた体の私には欠かせない。

緊張して汗ばむのか、ときどき外出先で背中のかゆみに悩まされる。おまけに手が届かない所がかゆくなるのだ。ひまごの手を手に入れるまでは四苦八苦していただけに、この掘り出し物は私の必需品となり常にバッグに携帯するようになった。

和漢三才図会によれば俗に「麻姑の手」という、とある。麻姑とは仙女の名で指の爪の長いのを見た蔡経という男が「あの爪でかゆい所を掻いたら気持ちがいいだろうなあ」と想像したという中国の伝説に由来するとか。

ひまごの手の作者はどんな人だろうか、と興味をそえられる。手の形の部分の削り具合を見ると大ざっぱだが実に使い勝手がいい。生活雑貨には結構遊び心が効いた楽しいものが多い。

凝った肩をひまごの手でトントントンたたきながら、ものとの出合いは本当は偶然ではなく人との出合いと同じように何かいつも心にとめてあったものが響いて呼び掛け合つて、なのではないかなと、そんなことを考えていた。

人生の折り返し点を通過した時、もつと目標をきちんと持つべきだと悔やんだが、上り坂を道草しながら歩いたおかげでたくさんの経験を積み、素敵な出会いを見つけたのだとも思う。

折り返した道は今度は下り坂。ウツカリすれば勢いがついて足を痛める。急ぐことはないのだ、慌てずに周りの景色を楽しみながら歩こう。道草もたつぷりしよう。途中で道に迷っても道はどこかでつながっている。自分の足で歩いていけば、いいものがまたきつと見つかる。

子田則子

用心しましょう

だま

騙しのプロに



4月初旬「詐欺電話」に注意
するよう、町内住民に伝えているという。隣地区の会長さん
と「困ったもの、騙される人、絶えなく」とボヤいていた。同日の昼
休み、食事室を済ませ、ついでに
休む、固定電話が鳴り、留守電
がガイダンスに重なって、一方的な
メッセージが聞こえてきた。

「こちらは法務省監視管理局
です。お使いになっている電話が
2時間後に利用停止になります。
不明のある方は上番を押して
下さい」と、外国人がAI合成な
のか違和感のある発音メッセー
ジが聞こえてきた。

えーと、ついに我が家にも来た
（？）と笑ったが、ニースで情報
を得て、法務省監視管理局
局など、なんのことやらと戸惑い、
指示された番号を押してしまっ
た。危ない、危ない。詐欺をする側は
たまたまと、アミにかかれれば
良いのだから。

先ずは冷静になること。電話を
切る勇気を持ちましょう。
見えない相手は、その道のプロ。
身に覚えのない事、曖昧なこと
には、一切応じず無視することだ。
「2時間後に停止になる」と知
らされたが、今まで通り電話は
使っている。

診療所にも頻繁に不明、不審
な電話がかかってくるので、そり
あらず、受信した番号をパソコン
で検索する。ほとんどが迷惑

と掲載されている。
その程度、対応するの、面倒な
ので、電話記録は「迷惑さん〇〇」
にした。すきり、かかってくる。た
自動的に着信拒否機能を作動
（しているのか）。
わずらわしさを解放された。
怪しい商法が色々ある。

点検（壁や屋根の修理）
危険、工事、マルチ、送りつけ
マッチセールス、内職、催眠
等等。

昔に比べて、人々をだます手段は集め
た。かき話術で楽しませ、日用品を
無料配布、興奮させ、最終的に
高額な布団やマッサージ機を
買わせる。催眠商法が流行した。
ま、今ではTVで「安〜い」「おいし
〜い」と様々なものを紹介して
販売意欲をわかせる。
楽〜い、と躍らされても、良
い、金財産を失うような悲惨な
目に合わないよう、用心しないと。

沈着・冷静に
「息子から事故に合つて困る、と
電話があった。友人が居たので、
息子の会社に連絡。でももう、
当人がいて、すでに帰国。電話相手は
俺か、という話。と話したら、切
た。確認出来て良かったね。

「おばあちゃん、助け〜」と孫娘
から電話。受信。声をきく。とわ
かて、事なきを得た。
実際にあつた身近な人たちの

いいなこの本



「町中華の丸かじり」
著者 東海林 さだお
発行 2022年11月30日、オリエ
朝日新聞社
定価 1500円＋税

丸かじりシリーズ45冊目登場。
「丸」の耳かじり「メンチカツの」
「ゴロケの」色々並んでいるが、ど
れもクイズと
「天う内容」
以前は、新鮮な乗車時に、駅売
り、確行場でも売られていたが、
今はみかけない。
町中華は、はやりうまい。
東海林さんの、物のとうえ方が、
真剣な、真面目な、真面目な、
真剣な、真剣な。幸せな人生だ
と羨ましくおもふ。一九三七年生
まれの、只今八十八歳。

消えた文字

仕事でペンは必需品。スリッパた
も、その、その、その、その、その、
押してある。頂戴したペンが、使
いにした。
何やら、ペンの、その部分、今ま
でのものと違ったので、ひと
して、と書いた文字も、こす
み、あら消せるわ！と喜んだ。
同様のスタイルの蛍光ペンも
試すと、消す、消す、消す、
と、どこか、プリンターを通
したら、大事な記録が消えて
しまった。
そう、ね、摩擦熱で消えるので
すものね、わずかな熱に反応
しちゃったのかも！これは、一
大事、とペンを今までのもの
に、戻し、交換。
「このペン、消す、消す、消す、
と、消す、消す、消す、消す、
のよ」と、診療所に予約日を
記入しながら、速く、速く、
「おめ、先の人か、練習の、
と、手にしたメモ、ストア
ブに、あたりながら、読んで
いたら、文字が消えてしまっ
た、大変だった」とのことだ
った。同様のペンを使用してい
たようだ。

いや、は、これは、大事件。その
方は、無事に、練習を述べ
られたのだろうか。

便利なものには、落とし穴がある。
試に、ガッテンだ。



頂戴したペン
とても、とても、
緑色のボールペン
黄色の蛍光ペン

知らないことがいっぱいあって、楽しくてたまらない。

月のつぶやき

かつて家族で暮らした北政・デンマーク
では、今年、全この手紙の配達を終了する
と新聞紙面でも知り、驚いた。
電子メールやSNSの普及で、国内の手紙
の取り扱いは、1割以下に減ったという。
私のおう、相変わらず、手紙を、手紙を、
送る、送る、送る、送る、送る、送る、
確かに、ポストに、届く、届く、届く、届く、
味のある文字に、ふれる、機会も、
以前より、書体も、合せて、その人、その人、
を楽しんで、いたが、今は、電子メールの、やり、やり、
簡単、簡単、簡単、簡単、簡単、簡単、
たりして、ポストに、投函、の、手紙、も、
現状では、翌日配達、なし、木曜日に、投函、し、
翌週着、だ、もの、なあ、
郵便の父・前島、密はこの有様を、どんな
想い、あの世、から、眺めている、のだろうか、